



No.104
(2022/7/1)

編集・発行：**教育課**
串本町サンゴ台690番地5
TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

橋杭岩

国指定文化財 記念物(名勝・天然記念物)

大正13年12月9日指定(串本)
昭和10年5月15日追加指定(姫)

今月号の表紙は「橋杭岩」です。

串本から大島に向かい、約850mの列を成して大小40余りの岩柱がそそり立っています。

海の浸食により岩の硬い部分だけが残り、あたかも橋の杭だけが立っているように見えるこの奇岩には、その昔、弘法大師と天の邪鬼が賭けをして、一夜にして立てたという伝説も伝わっています。

写真は姫地区側から撮影したものです。

7月1日～7月31日は

第72回「社会を明るくする運動」強調月間です

■「社会を明るくする運動」とは？

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラはすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で明るい地域社会を築こうとする全国的な運動です。

■地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

テレビや新聞では、毎日のように事件（犯罪）のニュースが報道されていますが、安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。取締りを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域作りをすることもまた、とても大切なことです。

立ち直りを支える家庭や地域をつくる。そのためには、一部の人だけでなく、地域のすべての人たちが、それぞれの立場でかかわっていく必

要があります。「社会を明るくする運動」では、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

■あなたもできることから始めてみませんか
「社会を明るくする運動」では、街頭広告、ポスターの掲出、新聞やテレビ等の広報活動に加えて、誰でも参加できるさまざまな催しも行っています。イベントに参加したり、ホームページを見たことなどをきっかけにして、犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、みなさんで考えてみませんか。

■更生保護ボランティア
「更生保護」は、社会の中での立ち直りを導き、助け、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ仕組みです。その活動には、保護司や協力雇用主をはじめ、たくさんの人たちが関わっています。信じてくれる人がいることは、必要とされる場所があること。それは、更生への大きな支えとなります。更生保護は、社会に暮らす人たちが

必要とされる場所があること。それは、更生への大きな支えとなります。更生保護は、社会に暮らす人たちが



主唱 / 法務省

小さい頃から、私と世界を隔ててきた“生きづらさ”。
世界は私の全てを拒絶した。

独りでもがいて、自分も周りも傷つけた私が
保護観察になったのは、高校をやめたとき。

言葉にならない思いは、あふれて、止められない。
その人は、私の“生きづらさ”に触れることなく
でも包み込むように言った。

— 大丈夫。世界は広くて、温かくて。
私もいるんだから、きっと大丈夫。

“生きづらさ”の向こうにあった世界が、
少しだけ近く見えた。
私を拒んでいた世界は、私が拒んでいた世界。
その人の言葉が、世界と私をつないでくれた。

だから今、今度は、君に伝えている。

— 大丈夫。世界は広くて、明るくて。
私もいるんだから、きっと大丈夫。

#生きづらさを
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第72回 社会を明るくする運動

7月1日～7月31日は「社会を明るくする運動」強調月間です。
再犯防止啓発月間です。

犯罪 1-0900

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です。

広く関わることで達成される取組なのです。

■串本町内の取り組み

串本町推進委員会では、重点目標に従い強調月間である7月を中心に年間を通じて、地域社会に貢献することを目的とし、次のような取り組みを行います。

- ① 地域社会における犯罪や非行の防止
- ② 更生保護活動への協力
- ③ 青少年教育の振興と協力
- ④ その他、目的達成のための活動



ジオ興し 橋杭岩の保全活動

6月2日、町や町教育委員会、ジオパークガイドなどをつくる「串本町ジオ興しチーム」の活動の一環として橋杭小学校6年生12人と国指定名勝・天然記念物橋杭岩の保全活動を行いました。

ジオ興しとは、町やガイド、観光協会、地域の飲食店など幅広いメンバーが参加し、地域にある身近な魅力を再発見する取り組みです。

この日は、南紀熊野ジオパークセンターでジオパークや橋杭岩の成り立ちなどについて学んだ後、橋杭岩に移動し、本来そこにはない陶器やガラス、コンクリート片等のがれきを拾い集めました。



午後からは拾ったがれきを学校に持ち帰り、どういったがれきが落ちていたかワークシートに整理しました。



子どもたちは活動を体験して、「橋杭岩がすごいことは知っていたけど、何がいいのかもっと知りたくなった。これからも大切にしていきたい。」と話していました。

ジオ興しチームでは、学校だけでなく町内の様々な団体と地域の魅力探し等の活動を広げていく予定です。

なお、今回の活動写真や保全活動の記録は道の駅くしもと橋杭岩の2階に秋ごろまで展示しています。



トルコ姉妹都市青少年団 来町中止のお知らせ



今夏に計画されていましたがトルコ姉妹都市メルシン市からの青少年団の来町ですが、依然続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受け、メルシン市と協議した結果、中止することといたしました。

来年度以降の予定についてはメルシン市と改めて協議しますので、今後とも本事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

公民館本館講座



今年度の本館講座「パソコン教室」が6月2日から始まりました。

講師の畑上耕三先生が基礎から指導しています。第1回目では専用のソフトを用いて、文字の入力の練習をしました。

15名の受講者が今後11月まで、ワード・エクセル・名刺作成などを学習する予定です。



少年メッセージ2022 東牟婁地方予選会

6月4日丹鶴ホール（新宮市）にて、東牟婁地方青少年育成県民運動推進員連絡協議会、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催の少年メッセージ2022東牟婁地方予選会が開催されました。

少年メッセージは、中学生が日頃考えていることを発表することで、同世代の少年少女が互いに理解し合い、郷土の未来を担う若い世代の育成を図る目的で実施しています。

この日は郡内から16校16名の中学生が発表を行い、その内容や表現力を審査員が審査しました。

串本町からは、中井美結さん（串本中3年）、丹野悠飛さん（串西中3年）、西悠斗さん（潮岬中2年）が参加し、審査の結果、西悠斗さんが優秀賞に選ばれました。

西さんは7月30日に日高川交流センターで開催される県大会に東牟婁代表として推薦されます。



優秀賞

「ラッコが教えてくれた事」

潮岬中学校2年 西 悠斗



唐突だが、皆さんはラッコが日本の水族館に何頭いるかご存知だろうか？

毎年の様に訪れてきた白浜アドベントリーワールド。僕のお気に入りにはラッコの餌やりを見る事。コロナ禍で来園できず、3年ぶりに昨年来園し徐々にラッコに会えると心を弾

ませ海獣館へと走った。だが、いつもいるはずの水槽にラッコの姿がなく、館内のどこにもいない。通りかかったスタッフにラッコはどこか尋ねると、ここにはもうおらず、1頭きりになった為、仲間のいる鳥羽水族館へ行つたとの事だった。そして続けて驚くべき事実を知る。ラッコが日本に4頭しかいないというのだ。ラッコの現状と会えなかった事に、僕はショックを受け、家に帰るなり早速ラッコについて調べた。

ピーク時にはラッコは日本に122頭いたが、現在は三重県鳥羽水族館に2頭、福岡県マリノワールドに1頭、千葉県鴨川シーワールドに1頭の計4頭に激減。いずれも高齢で、国内では繁殖が難しい。また、仲間を殖やす為の外国からの輸入も絶滅危惧種の為、行う事ができない。ラッコの毛皮を目的とした乱獲や1989年に起きたアラスカ沖でのタンカー船原油流出事故の影響で、3000頭以上のラッコが死んでしまい、生息数が激減。アメリカでは国内法で野生のラッコの捕獲や輸出は原則禁止され2000年には絶滅危惧種に指定された。絶滅の危機に面しているのはラッコだけではない。現在の地球は深刻な環境問題により、生物達が生息しづらくなっている。主

な問題は地球温暖化、海洋汚染、森林破壊、大気汚染などだ。特にラッコ達の生活圏である海洋は人間によって廃棄されたゴミや生活排水による汚染が問題で、特に「マイクロプラスチック問題」が問題視されている。ストローやビニール袋等のプラスチックが5mm以下の小さなプラスチック粒子となり海流に乗って世界の海に拡散し、海洋生物だけでなく、食物連鎖によって人体にも悪影響を及ぼす事が分かっている。他にも海洋生物達が、ビニール袋を誤飲したり、廃棄された網やロープに絡まったり、どれも深刻な問題だ。僕が小6の夏休み、宿題の「エコチャレンジ」で、近くの浜辺のゴミ拾いを父と一緒にした。たった1時間弱だったが、ゴミの多さに驚いた。ゴミはハンブル文字のペットボトルや漁で使うような網や籠。そしてレジ袋や食品の空き袋。僕はこの時、ゴミの放置は個人の心掛けとモラルの問題であり、1人1人の意識が大切だと痛



感じた。併せてラッコの現状に深刻な環境問題を再認識させられた。

どこか遠い国の事ではない。まず自分の足元から今、何ができるのか考え、未来に継ぐ。まず僕ができる事。エコバッグを使う。ゴミは持ち帰り分別する。使わない電気は消す。どれも些細な事かもしれないが、1人1人が心掛け、皆で実践すれば、必ず環境問題解決への一歩になるはずだ。面倒だと思う人もいるかもしれないが、自分が生きる時代だけの快適さを求めるのではなく、永久に地球が健全であるよう、自分自身に何ができるのか考えて欲しい。だがこのような悲しい事がある一方、嬉しいニュースもあった。北海道の霧多布岬で野生のラッコの繁殖が確認されたのだ。2016年頃千島列島からやって来たと考えられ、当初は3頭程だったが、現在7倍の20頭にまで殖えた。そして保護の観点から、親から逸れたラッコを水族館へという検討も始まっているらしい。この事実を知り、ラッコが日本を生息地として選んでくれた事を僕はとても嬉しく思った。新しい生息地がラッコ達にとって楽園となるよう、そして、もっと多くの仲間が殖える事を期待して、この情報を見守っていききたいと

思う。

地球の未来の鍵は僕達人間が握っている事を自覚し、まずは今、自分に何ができるかを考えながら地球に暮らす一員として共に行動しよう。



前列着座が入賞者、西さん（左から3人目）
丹野さん（後列右から1人目）、中井さん（後列右から5人目）



3位：目津チーム

6月1日サン・ナンタンゲートボール場にて、第18回串本町ゲートボール大会を開催しました（町教育委員会・町体育協会・町ゲートボール協会主催）
町内の6チーム（30名）が参加し、A・Bの2コートにわかれてリーグ戦形式で試合を行いました。
当日は好天に恵まれ、新型コロナウイルス対策に気をつけながら競技を行い、親睦を深めました。



優勝：和深チーム

各チーム3試合の結果の勝ち数、得失点差で総合順位を決めました。大会の結果は次のとおりです。

【優勝】和深Aチーム

【準優勝】目津チーム

【3位】和深Bチーム



夏の子どもを守る運動

夏休みは、青少年がトラブルや犯罪に巻き込まれる機会が多くなることと予想されます。このため、7月及び8月を「夏の子供を守る運動」期間と定め、関係機関はもとより、各種団体や地域社会が一体となつて、すべての青少年が「明るく・正しく・たくましく」育つよう、県内全域において集中的な取組を推進します。青少年を非行や犯罪被害から防ぐために大人は何をすべきか考えてみましょう。

第58回
夏の子供を守る運動
～明るく正しくたくましく～

令和4年 7月1日(金)～8月31日(水)
地域で守ろう! 育てよう!
和歌山の青少年

水の事故に気をつけよう!
自撮り画像を撮らない! 送らない!
STOP THE いじめ!
考えよう! 家族みんなでスマホのルール
万引きは犯罪です!
見逃さないで! 子供のサイン

和歌山県青少年総合対策本部

大島プール

プール清掃実施

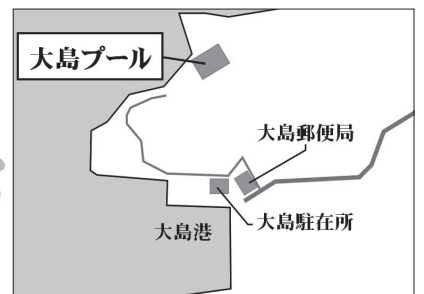
大島プールの一般開放開始を前に6月16日にプール清掃を行いました。大島小学校の先生、保護者、大島区の方々とともに、プールに溜まった泥や枯葉などを取り除き、デッキブラシ等できれいに磨きました。大島プールは、今年は7月2日より一般開放を行います。詳細については下記のとおりですので、ぜひご利用ください。

大島プール一般開放について

大島プール使用料			
区分		料金	
町民	中学生以下		無料
	一般	個人使用	1人につき200円
		団体使用(10人以上)	1人につき150円
	高齢者・障がい者等		無料
上記以外	中学生以下		1人につき100円
	一般	個人使用	1人につき300円
		団体使用(10人以上)	1人につき200円
	高齢者・障がい者等		1人につき200円

備考
1.入場1回の使用料とする
2.高齢者・障がい者等とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。
(1)70才以上の者 (2)身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の保有者 (3)介護保険法(平成9年法律第123号)の規定により、要介護状態又は要支援状態として認定された者
3.小学生未満の使用については、付添人があるものに限り許可する。

- 使用期間
7月2日(土)～8月31日(水)
10時から16時まで
- 大島小学校プール水泳指導日
次の日は、大島小学校のプール水泳指導のため、貸し切りとさせていただきます。
【終日】
7月1日、5日、12日、15日
【10時から12時まで】
7月25日、26日、27日、28日
- その他
新型コロナウイルス感染症の感染状況や、天候の状況により臨時休業することがあります。
- お問い合わせ
教育課社会教育グループ
☎(67)7260





イタリア映画「ひまわり」(1970年9月12日に、日本で初公開)のリバイバル上映の輪が広がっているらしい。半世紀前の冷戦期と呼ばれていた時代に、イタリア・フランス・ソビエト連邦・アメリカ合衆国の合作で制作された映画である。イタリアを代表する二人の俳優が、戦争(第二次世界大戦)によって引き裂かれ、翻弄される夫婦を演じ、世界的にヒットした。

当時、高校二年生の私は、「映画見に行くんやけど、一緒に行かん?」と友達に誘われるままに付いていった。初めて見た洋画が、この「ひまわり」だった。同級生数名で古座駅から汽車に乗り、串本駅から徒歩で映画館へ。小学生(西向小学校)の頃に先生に引率されて集団で行った映画館は営業を終えていたので、映画を見るためには串本までいかなければならなかった。

私は映画に特別興味をもっていただけでなく、また、「ひまわり」がどんな映画なのかも全く知らないまま映画館の暗闇の中に座った。最初は、こんな大人の映画を高校生が見てもいいのかと少し戸惑ったが、見ているうちに段々と引き込まれていった。ストーリーもきりなが



ら、最も印象に残ったのはタイトルになっていくひまわり畑。どこまでもどこまでも続いている広大なひまわり畑は、帰りの汽車の車窓にも残像となって浮かび上がるくらいだった。哀愁を帯びたテーマ音楽と主演の二人の表情、そして圧巻のひまわり畑。それらは今も鮮明に覚えている。あの美しいひまわり畑のシーンは、ウクライナの首都キエフ(現キーウ)から南下した地で撮影されたらしい。ひまわりはウクライナの国の花だという。初上映から五十年以上過ぎた今、ロシアによるウクライナ侵攻と相まって、再び「ひまわり」を見ようとする人が増えているのかもしれない。

「ひまわり」がヒットした1970年、日本で最初の国際博覧会「大阪万博」が開催された。私が通っていた高校では万博見学の希望者を募り、バス数台を連ねて大阪へと向か

った。三重県から奈良へ入り一泊。翌日、吹田市の万博会場に到着。テーマ館にそびえ立つ「太陽の塔」の異様な迫力に驚き、人波に圧倒され主だったパビリオンには入れず、ただ「万博」という世界的な大きなおまつりの中に居るような気がした。ヘルメットをかぶり太陽の塔の目の部分に立てこもっている人影も目にしたが、会場に居た人達は何ら気にせず、国際色豊かなおまつり気分を満喫しているようにみえた。

その万博会場のイベントステージで歌われたのが、「戦争を知らない子どもたち」(作詞・北山修 作曲・杉田次郎)だったと最近知った。今も歌いつがれているフォークソングだが、発表当時は世代の違いで賛否両論があり、戦争を知っている体験者からは痛烈な批判があったそう。

私も「戦争を知らない子どもたち」の一人で、この歌は平和を願うフォークソングの一つとして聞き、歌っていた十代の頃、母方の叔父がこんなことを話してくれた。終戦の年、串本商業の生徒だった叔父は、戦争で父をなくしたショックが大きくて、試験の答案を白紙で出したが卒業はさせてもらったと。

国民服を着て、直立不動で真っすぐ前を見つめている祖父の写真。そ

の一枚の茶色の写真でしか私は祖父の顔を知らないが、叔父や母の話によると良き父親だったよ

うだ。昭和20年、八尾の挺身隊に居た娘(私の母)に面会した後出征し、そのまま帰ることはなかった。二度目の召集を受け、軍属として民間の輸送船に乗っていたらしい。帰ってきたら自分の船を持ち、漁師をすると言っていた祖父の夢は叶わなかった。

私は三年前の夏、墓参りをした日に祖父のことを短歌に詠み、新聞に投稿した。

マグロ追ふ漁師なる祖父海に消ゆ
昭和の夏の戦の果てに

コロナ禍に追討ちをかけるようにウクライナ侵攻のニュースが世界を駆け巡る現代。三年後の2025年には大阪で二度目の万博が開催される。テーマは、いのち輝く未来社会のデザインだそう。これから先の未来が輝いていることを信じて。



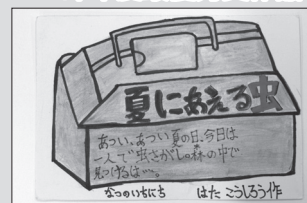
令和4年度串本町小中学生ポップコンクール作品募集

- 主 催 串本町教育委員会、串本町子ども会連絡協議会
- 主 管 串本町図書館
- 応募期間 7月19日(火)から8月19日(金)まで
- 応募資格 町内在住もしくは町内の小中学校に在籍している小学4年生から中学3年生まで
- 入 賞 小学生の部・中学生の部
各部門最優秀賞1点、優秀賞6点を予定
- 応募方法 応募票記載のうえ教育課、図書館、学校へ提出
- ポップ規格

- ①大 き さ 官製はがきサイズを(10cm×14.8cm)基本とし、最小(9cm×14cm)、最大(10.7cm×15.4cm)。
- ②作品材質 官製はがき、または同程度の厚みのある紙
- ③応募点数 1人につき1点
- ④紹介文
 - ・字数制限はありません。(本のタイトル、著者名は必ず記載)
 - ・未発表のオリジナル作品で、手書きのものに限ります。
 - ・表紙のイラストなど、著作権を侵害するような既存作品・キャラクターの使用はできません。
 - ・本の中身や帯、インターネット等で公開されている紹介文をそのまま写した文章等の使用はできません。

■お問い合わせ 串本町図書館 (Tel.62-4653) 教育課社会教育グループ (Tel.67-7260)

昨年度最優秀賞作品



【小学生の部】



【中学生の部】

教育課よりお知らせ

第18回

盆野球大会

- 主 催 串本軟式野球クラブ協会
- 後 援 串本町教育委員会・串本町体育協会
- 期 日 8月15日(月)
- 場 所 総合運動公園野球場ほか
- 申 込 先 教育課社会教育グループ
Tel.67-7260

- 申込締切 8月4日(木) 午後5時まで
- 抽 選 8月4日(木) 午後7時より
串本町文化センターにて

参加費 2,000円

参加資格

- ・町内在住者、勤務者及び出身者
- ・串本軟式野球クラブに加盟されている方
- ・小中学、高校生の出場は認めない但し定時制高校生の出場は認める。
- ・大学(軟式、硬式等)、社会人野球に籍を置く者の出場は認めない。
- ・二重登録は認めない。

その他

- ・新型コロナウイルスの感染状況により急遽中止する場合があります。
- ・出場チームは、主催者が定める感染症対策を必ず行ってください。



令和5年

串本町 二十歳の集い 実行委員の募集

令和5年集いの司会・受付等を行う実行委員を募集しています。希望される方は教育課社会教育グループまでお申し込みください。

対象者

平成14年4月2日から平成15年4月1日の間に生まれた方で、町内在住、当町出身者とします。

申込締切日

令和4年8月19日(金)